

第76回全国放屁大会

3人～6人 約30分 8歳以上

第76回全国放屁大会

大会紹介

この大会は戦後間もない頃に始まったオナラの長さを競い合う競技の全国大会です。ルールは焼きイモを食べてオナラを出し、その時間の合計が長いチームが優勝となります。但し、ミ(ウ●コ)が出たり、不自然なオナラが出た時は失格やペナルティを課せられます。

ゲーム内容物

カード74枚(選手カード12枚、オナラカード56枚、判定カード6枚)及び説明書



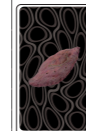
選手カード



オナラカード



選手・オナラカードの裏面



判定カード裏表(ブラウンとイエロー)

ゲームの準備

- ・判定カードを各プレイヤーに1枚ずつ配り、余った判定カードは箱にしまします。
- ・選手カードとオナラカードをウラ向き(焼きイモの絵柄)にしてよく混ぜ中央にランダムに置きます。(右画像：以後山札と表記します)




スタートプレイヤーとゲームの進め方

- ・一番最近オナラをこいた人がスタートプレイヤーになります。(その場でこいたらその人がスタPです)
- ・プレイヤーは山札から焼きイモ2本分のカードを取り手札にします。(焼きイモ2本描かれているカードなら1枚、1本描かれているカードなら2枚取ります) 注：焼きイモ1本のカードにややこしい音が多いです。
- ・カードのオモテ面に文字のあるオナラカードだった場合、それを手札に入れて手番(自分の順番)終了します。
- ・カードのオモテ面に選手が描かれた選手カードだった場合、
 - ① 手札のオナラカードが0枚もしくは1枚の時は、選手カードを山札に戻し、別のカードを取ります。2回目も選手カードだった時はカードを戻し、その手番は終了します。
 - ② 手札のオナラカードが2枚以上ある時は『**出そう**』と宣言し、放屁実演に入ります。(焼きイモ1本のカードを2枚めくる途中の1枚目で選手カードが出た場合は2枚目は取らずに宣言します)
 - ③ 放屁実演が終われば失格やペナルティ等の処理をし手番終了します。
- ・手番が終了したら左隣の人の手番になり同じように進めて行きます。



放屁実演とルール

『**出そう**』と宣言した後、次の事を行います。

- ① 引いた選手カードをオモテ向きに場に出し自己紹介をします。

(例)  「1番 奈良県 田中晋三 38歳 ロケットエンジニア 趣味は鷹狩り」
など好き勝手に設定して盛り上げて下さい

- ② 手札のオナラカードを組み替え、すべての文字を使ってオナラに聞こえるように声で表現して下さい。

(例)  ⇒  **ふう びふう**

- ③ オナラを出す人(以後 放屁者)は以下のようにしなければなりません。

1. 放屁実演時に笑ってはいけない(→失格)
2. 断続的に出してよいが、間隔は1秒までとする (例) ふう ^{1秒} すう ^{1秒} ぶしゅ
3. できるだけオナラに聞こえるように実演しなければならない
4. ミが出たと思われないように実演しなければならない

- ④ 放屁者以外のプレイヤー(以後判定者)は以下のようにしなければなりません。

1. 放屁実演終了後 3秒まで笑ってはいけない(→ペナルティ)
2. 放屁実演終了後 オナラの判定をします

放屁判定と処理

正常放屁……普通のオナラと聞こえた場合、判定カードは掲示しない。放屁者は下図のように選手とカードを前に並べて置いておき、ゲーム終了後ポイントとなる。



疑惑放屁……ちょっと不自然なオナラや少しちびってるかもしれないオナラに聞こえた場合、判定者はイエローカード面を放屁者に掲示、多数決及び協議によって判定。



疑惑放屁判定ならば放屁者にペナルティを課します。(→ペナルティ)

失格放屁……ミが出たと聞こえた場合、判定者はブラウンカード面を放屁者に掲示、多数決及び協議によって判定。失格放屁判定ならば放屁者は失格となり、右図のようにオナラカードをまとめ選手カードを上に乗せます。ポイントは0です。



※疑惑放屁と失格放屁の協議中にはレコーダー審議を申請できます。(放屁者に再度 実演してもらう)

失格とペナルティの処理についてまとめ(この順番で処理します)

- ① 放屁者が放屁時に笑う ⇒失格 1つにまとめて一番上に選手カード(0ポイント)
- ② 放屁者がブラウンカードで失格放屁判定 ⇒失格 1つにまとめて一番上に選手カード(0ポイント)
- ③ 放屁者がイエローカードで疑惑放屁判定 ⇒ペナルティ 左隣の人から順番に実演したオナラカードから1枚選び取り(取らないも可)手札にします。放屁者は残ったカードと選手を並べて置く。(残数がポイント)
- ④ 判定者が放屁後3秒以内に笑う ⇒ペナルティ 笑った判定者から放屁者が1枚ずつオナラカードを取る。(表面を見ずに1枚引く。手札が無いプレイヤーは免除。)失格放屁や疑惑放屁でも有効。新しい手札とする。

ゲームの終了と勝利

各プレイヤーが手番を続けていき、選手カード12人の放屁実演が終了したら、山札がまだ残っていてもゲームは終了となります。

失格しなかった自分の選手達のオナラカードの枚数を1枚1ポイントとして合計します(残った手札はポイントにはなりません)。次に一番長いオナラをした(最多枚数)選手にロングストオナラーとして2ポイントプラスします。最多枚数の選手が複数いる場合はその選手達全員に1ポイントプラスします。ポイントの総合計が一番多かったプレイヤーの勝利となります。

ゲームに関して Q&A

Q:「出そう」の宣言ですが、「出る」でもいいですか?

A:「出る」でも「来た」でも「いきます」でも放屁の意思表示でOKです。

Q:オナラカードに描かれている虫みたいなイラストは何ですか?

A:「ダダー虫」というキャラで腸内細菌を表しています。いい音にはニコニコ善玉菌、ややこしい音には不機嫌な悪玉菌が描かれています。

Q:選手全員の下半身が白い下着1枚なのはなぜですか?

A:何かを隠す不正防止のためと、ミが出た時に判別しやすいようにです。

カードの不足やルールの疑問などありましたらお手数ですがサイトのメールから連絡下さい。折り返し連絡致します。よろしくお願ひします。

第76回全国放屁大会

2021年3月28日 第1版発行
ゲームデザイン・イラスト アチサワモユキ
発行 アチサワゲーム

印刷所 株式会社 アドプリント
株式会社プリントバック



<http://adisawa.net/game>